

人吉市住民懇談会 通信【東校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

東校区（2/12（金）16時半から開催、東西コミュニティセンター）では、多くの参加（町内会長18名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防災ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和3年度中には全世帯への配布を終わらせたい。 難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールとFAXで対応することを考えている。
農地復興	<u>どこから着工するか順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治水対策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和3年出水期までに約70万m³実施予定</u> （昨年12月時点で約38万m ³ 施工中、今後出水期までに約32万m ³ 施工予定）である。 情報についてもできるだけ提供していきたい。
会議案内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
避難情報	○ 当日は朝から行政無線の放送があったが、ほとんど分からなかった。 ○ 災害時には情報が不可欠だが、町内には一人暮らしが100人以上おり、それぞれに行政無線が必要。
避難行動	○ 大勢いる要支援者のサポートを災害時に誰がするのかも決めておく必要がある。
まちづくりの方向性	○ 住民の意見を聞きながら進めるのは簡単ではないと思うが、スピードアップしてもらいたい。 ○ 住民が安心して暮らせるような状況を作ることが早急な問題。 ○ 市として明確な方針を示してもらいたい。 ○ 被災した高齢者世帯の経済的負担をどうするかが課題。 ○ 被災者が復興について相談できる場を行政に設けてほしい。
市街地復興	○ 中心市街地をどのように復興しようかと皆で話している。 ○ 紺屋町ではあちこちで建物が解体され、ゴースタウンのようにになっている。更地にした後住民は帰って来るのか売却するのか調査してほしい。 ○ 住宅をリフォームしたいが方向が見えず、再建を断念した人も多い。帰って来れない人ばかりである。
公共施設	○ 中川原公園は全部撤去したほうが良いと思う。
治水対策	○ 店を再開しているところもあるが、また氾濫が起きたら私達の町内は全滅し、立ち直れない。 ○ 河川の工事が遅い。市も住民に対して河川工事のスケジュールを伝えないといけない。 ○ 中川原に堆積した土砂35,000m³を取り除いた場合の治水効果を知りたい。

※他の校区では「避難所」、「農地復興」、「森林対策」、「井戸水対策」、「町内会再編」、「財政運営」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

人吉市住民懇談会 通信【西校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

西校区（2/10（水）14時から開催、東西コミュニティセンター）では、多くの参加（町内会長8名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取り組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取り組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取り組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防 災 ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和 3 年度中には全世帯への配布を終わらせたい。 難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールと FAX で対応することを考えている。
農 地 復 興	<u>どこから着工するか順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治 水 対 策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和 3 年出水期までに約 70 万 m³実施予定</u> （昨年 12 月時点で約 38 万 m ³ 施工中、今後出水期までに約 32 万 m ³ 施工予定）である。 情報についてもできるだけ提供していきたい。
会 議 案 内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
避 難 情 報	○ 昨年の水害の際に防災無線がきちんと聞こえなかった。各家庭に防災無線を配備すべき。
まちづくりの 方 向 性	○ 公表された『全国住みよさランキング 2020』で人吉市は全国で 30 位に入った。住みやすい人吉を復興させ、そんなことも P R して転出した人たちに帰ってきてもらいたい。
市街地復興	○ 仮設住宅に住み続けたい。 ○ 仮設住宅を払い下げてもらいたい。 ○ 国道 445 号の沿道で被災した人が店を再建する場合にはセットバックが必要になるのか知りたい。
公 共 施 設	○ 国道 445 号の青井阿蘇神社周辺での計画が知りたい。
治 水 対 策	○ 遊水地や田んぼダムのことなどが報じられているが、その方法や効果なども知りたい。 ○ 近くの山田川で堆積土砂を取ってもらっているが、単に堆積した分のみではなく、もっと掘り下げることができるのか知りたい。 ○ 校区で流水型ダムの視察に行った。流水型ダムの整備にも早く取りかかってもらいたい。

※他の校区では「避難行動」、「避難所」、「農地復興」、「森林対策」、「井戸水対策」、「町内会再編」、「財政運営」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線：8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

人吉市住民懇談会 通信【東間校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

東間校区（2/9（火）14時から開催、西間上町公民館）では、多くの参加（町内会長15名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取り組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取り組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取り組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防災ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和3年度中には全世帯への配布を終わらせたい。 難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールとFAXで対応することを考えている。
農地復興	<u>どこから着工するか順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治水対策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和3年出水期までに約70万m³実施予定</u> （昨年12月時点で約38万m ³ 施工中、今後出水期までに約32万m ³ 施工予定）である。 情報についてもできるだけ提供していきたい。
会議案内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
まちづくりの方向性	○ コンパクトシティ、集約型の都市を目指したい。旧7町の中心市街地をオールドタウン、古きよきまちとして考え、山の上の自然環境に囲まれた住宅地をニュータウン、新しいまちという都市構造を考えたい。 ○ 今後はスポーツ振興、団体の合宿ができるまちを目指したい。
公共施設	○ くま川鉄道はこのままバス運行でもよいのではないか、考えてほしい。 ○ 川南のほうでは下水道の整備が重要である。
農地復興	○ 農業や農振地域に対する市の考えが示されていない。 ○ 農家が農業を続けるのかという意向集約をしないと、今後の農業の方向性や暮らしに影響がある。 ○ 圃場の復旧において負担金がどれくらいのものとなるかを示してもらいたい。
治水対策	○ 河川の堆積した土砂の撤去をどうするのか、過去には橋の架け替えで学生が通学時に迂回する状況となったことから、工事の進捗が心配だ。 ○ 河川の掘削土砂は資源と考え、セメント利用等、その活用を今のうちから考えておくことが重要ではないか。 ○ ダムができるまで、どれだけ事前対策できるかが重要だ。

※他の校区では「避難情報」、「避難行動」、「避難所」、「市街地復興」、「森林対策」、「井戸水対策」、「町内会再編」、「財政運営」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

人吉市住民懇談会 通信【大畑校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

大畑校区（2/8（月）19時から開催、大畑コミュニティセンター）では、多くの参加（町内会長8名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取り組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取り組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取り組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防災ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和3年度中には全世帯への配布を終わらせたい。 難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールとFAXで対応することを考えている。
農地復興	<u>どこから着工するか順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治水対策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和3年出水期までに約70万m³実施予定</u> （昨年12月時点で約38万m ³ 施工中、今後出水期までに約32万m ³ 施工予定）である。 情報についてもできるだけ提供していきたい。
会議案内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
避難情報	○ 避難指示と避難勧告が一本化される動きがあると聞いたので教えてほしい。 ○ 防災無線が聞きづらいので、別の方法を考えてほしい。
避難行動	○ 高齢化が進んでいるため、誰が誰をどこに連れて行くかをきちんと決めておく必要がある。
避難所	○ 避難所になった大畑小学校トイレが非常に狭く、和式で高齢者には使いづらい。避難所のトイレは洋式にしてほしい。 ○ 避難所になっている公民館が老朽化していて強度もない。そこへの避難は考えられない。 ○ 大畑コミセンまで行くことができない高齢者や体が不自由な方がいたので、上漆田公民館に避難した。今後も柔軟に対応してほしい。
公共施設	○ 道路やふるさと農道等が傷んでいると市に連絡したが、いつ復旧するのか等その後連絡がない。 ○ 麓橋が壊れて通れないので、普通車が通れるような仮橋を架けてほしい。
治水対策	○ 小さで川の河床が上がってきており、今年の大雨が心配。早く河床掘削してほしい。

※他の校区では「まちづくりの方向性」、「市街地復興」、「農地復興」、「森林対策」、「井戸水対策」、「町内会再編」、「財政運営」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

人吉市住民懇談会 通信【西瀬校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

西瀬校区（2/12（金）10時から開催、下戸越公民館）では、多くの参加（町内会長10名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取り組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取り組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取り組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防災ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和3年度中には全世帯への配布を終わらせたい。 難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールとFAXで対応することを考えている。
農地復興	<u>どこから着工するかの順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治水対策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和3年出水期までに約70万m³実施予定</u> （昨年12月時点で約38万m ³ 施工中、今後出水期までに約32万m ³ 施工予定）である。 情報についてもできるだけ提供していきたい。
会議案内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
避難情報	○ 7月4日の防災無線は雨でほとんど聞こえなかった。
市街地復興	○ 相良町、宝来町、薩摩瀬などは今後、嵩上げするのかがわからないと住宅をリフォームするのかが新築するのかが決められない。
公共施設	○ 西瀬橋が仮設で復旧したが、今後どうなるのか知りたい。 ○ 避難所でもあった西瀬公民館は従来の場所に原形復旧しないと国庫補助が出ないそうだが、再び浸水する場所に再建すること自体が疑問である。
農地復興	○ 浸水した農地は浸水しない場所に集約できないのか知りたい。 ○ 農地に流れ込んだゴミなどはボランティアに手伝ってもらって自分で片付けている。市として対応してもらいたい。
治水対策	○ 川に近い場所は再び浸水するから、建物は浸水しない場所に集約し、空いた場所を遊水地にできないか知りたい。
町内会再編	○ 町内に住んでいるのに他の町内会に入っている人がおり、災害が起きても把握できない。町内のことをきちんと把握できる体制にしてほしい。 ○ 災害で亡くなった人、転出した人、仮設住宅にいる人などいろいろ。町内会では把握できず、広報も配布できない。

※他の校区では「避難行動」、「避難所」、「まちづくりの方向性」、「森林対策」、「井戸水対策」、「財政運営」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

人吉市住民懇談会 通信【中原校区】

かわら版
Vol.1

～みんなでつくる人吉市の復興まちづくりに向けて～

『校区别座談会（第1回）』を開催しました

復興計画の策定とともに、今後の復興まちづくり計画の検討に向けて、住民等の具体的なまちづくりへのご意見・ご要望やアイデアを把握・反映していくための場として、住民懇談会を開催することとなりました。

第1回目は、6つの校区别に主に町内会長参加による『校区别座談会』を2/8～12に開催しました。

中原校区（2/9（火）10時から開催、堀公民館）では、多くの参加（町内会長19名）をいただきました。

- 1 開会挨拶
- 2 復興計画（素案）の説明
- 3 復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明
- 4 過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介（ビデオ放映）
- 5 意見交換
 - ・復興計画（素案）について
 - ・当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について
- 6 閉会挨拶



住民懇談会の進め方について ～人吉市復興まちづくり計画の策定に向けて～

令和2年度は、町内会長に参加いただき、校区别に「各校区の主な課題や重点地区の検討」を行い、復興計画（3月末まで策定予定）への反映や、今後の復興まちづくり計画検討の取り組み方針に活かしていく予定です。

令和3年度は、より多くの住民に参加いただき、重点地区別に『地区別懇談会』を開催し、「各重点地区の具体的な復興まちづくりの取り組みの検討」を進め、復興まちづくり計画に反映していく方針です。

これら会議開催に際しては新型コロナウイルス感染対策に十分配慮するとともに、会議内容の情報提供やより多くの住民の皆様からの意見受付等により、地区住民の合意形成に努めます。

令和2年度		令和3年度
小学校区別（6校区）開催、参加者は主に町内会長		重点地区別開催
校区别座談会 第1回	校区别座談会 第2回	地区別懇談会（複数回）
2/8～12 開催	3/22～25 開催予定	4月以降開催予定
●復興計画（素案）の説明 ●復興まちづくり計画や住民懇談会の目的と進め方の説明 ●過去の被災地における復興まちづくりの取り組み紹介	●校区の主な課題（案）の説明 ●上記課題を踏まえた、市全体での重点地区の候補（案）の説明	●各重点地区別に、具体的な復興まちづくりの取り組みについて意見交換 ●参加者は幅広い住民等
★意見交換のテーマ ①復興計画（素案）について ②当該校区の主な課題や重点的な取り組みが望まれる地区への要望について	★意見交換のテーマ ①校区の主な課題（案）について ②重点地区の候補（案）について	★意見交換の方向 ○各回テーマを変えて、段階的に議論 ○グループ別意見交換（ワークショップ活用など）

復興まちづくり計画とは

復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したもので、特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の特性・課題を踏まえた具体的な計画づくりを行います。

住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）に対して、行政が支援し、協働・連携して計画策定をめざします。（計画期間は、復興基本方針を踏まえ、令和4～9年度の概ね6年間。ただし、令和3年度からの一部実施も想定。）

復旧・復興事業等の状況や予定について ～座談会全体の中での主な連絡事項

項目	市の回答内容
防 災 ラジオ	<u>各家庭への防災ラジオ（音声と文字表示）の配布を予定</u> している。今次水害の被害住宅については出水期までに配布し、令和 3 年度中には全世帯への配布を終わらせたい。難聴の方へは、文字表示型防災ラジオの他、メールと FAX で対応することを考えている。
農 地 復 興	<u>どこから着工するか順番を調整中</u> である。被害地区ごとに説明会を開きたいと考えており、詳細は広報誌等で情報発信していきたい。
治 水 対 策	人吉地区の <u>球磨川の河道掘削は、令和 3 年出水期までに約 70 万 m³実施予定</u> （昨年 12 月時点で約 38 万 m ³ 施工中、今後出水期までに約 32 万 m ³ 施工予定）である。情報についてもできるだけ提供していきたい。
会 議 案 内	コロナ禍における日程調整など課題もあるが、できるだけ早く、会議開催の案内と資料の事前配布に努めたい。

意見交換の概要 ～復興計画（素案）や各校区の主な課題・重点的取組み要望など

項目	住民の主な意見
避 難 情 報	○ 早めに避難指示を出してほしい。 ○ 防災無線基地局がある温泉町が水害でやられたため、情報が伝わらなかった。 ○ 防災ラジオや受信機は、外に出ているときは聞こえないし、難聴者にはわからない。防災情報の発信方法を再考してほしい。
避 難 所 まちづくりの 方 向 性	○ 避難した公民館まで水が来た。そんな公民館への避難には疑問がある。 ○ 復興計画やまちづくり計画については、やることや期限の周知や情報提供が重要である。
市街地復興	○ 人吉市が死んでしまわないよう市街地中心部を最重要拠点にし、昔の様に市民や観光客が楽しめるまちとして再生してほしい。
農 地 復 興	○ 一日でも早く田植えをして農地として復興していきたい。 ○ 中神地区の農地は雑草が生え、災害ゴミもたくさん溜まった。それを個人で片付けるのは難しいし、高齢化で農地離れが進み、荒れていく。 ○ 中神地区はほとんどが農振地域なので、国や県と協議し、農家の方とも話し合いながら取組んでいくことが重要である。 ○ スケジュールを示してほしい。
森 林 対 策	○ 大柿地区・小柿地区のほとんどの山・谷底が荒地となっている。山の再生には時間がかかるため、むやみに木の伐採をしないように規制してほしい。
治 水 対 策	○ 河道掘削のスケジュールがわかれば、今後の居住の方向性や安心につながる。 ○ 球磨川の治水は、人の力でコントロールしていくしかないだろう。森林計画でコントロールする方法もあるだろうが、ダム設置も要望したい。 ○ 進捗状況をわかる範囲でよいので教えてほしい。
井戸水対策	○ 河川の掘削が進んでおり、中林町内でも井戸水がかなり減り、枯れている。
財 政 運 営	○ 財政が厳しい中、どのように災害復旧していくかが課題。

※他の校区では「避難行動」、「公共施設」、「町内会再編」などにもご意見がありました。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
 〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
 Tel:0966-22-2111(内線：8893) Fax:0966-24-7869
 E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。